



# 仙高の風

令和2年4月30日発行 第2号



## 「if (もしも)」を思うことは 校長 町田尚彦

生徒の皆さん、いかがお過ごしですか？それぞれ自身の不安とともに、周囲の大人たちがパンデミックの影響を受けているダメージを感じ、きっと様々なことに思いを巡らせていることでしょうか。青年の感受性は美しく繊細で、それゆえ傷つきやすく、大人たちが「大丈夫！」と声をあげている裏の本心まで、きっと見抜いているのでしょうか。困りごとがあればひとりで抱えず、ぜひ先生に相談してみてください。

「if (もしも)」ということ人を考えるものです。特に、うまくいかないことや、どうしようもない時に、「もしもあの時、別の判断をしていたら、別の出来事が起こっていたら」と想像したりするものです。その夢想は歌になったりドラマになったりして、「if (もしも)」が織りなすフィクションが、人に勇気や希望を与えることもあります。

しかし、それら多くのドラマのエンディングは、「if (もしも)」別の選択をしていたとしても、同じところに行き着くというものです。運命論のようなことを言うつもりはありません。何処に行こうとも、人は出逢うべくして出逢い、そこで夢中になり、恋い焦がれ、無償の頑張りをするようになるものです。パンデミックが起こらなければ経験できたであろうことを思うと、多くの無念に襲われていることでしょうか。打ち込んでいたものが本当に好きだったのかさえ試されている気がします。だいじょうぶ。きっと君を励ます瞬間は待っています。そこで

## 生徒会長 安藤まなさんから、 皆さんへの応援メッセージ

皆さんご無沙汰しておりますが、いかがお過ごしでしょうか。生徒会長の安藤です。新型コロナウイルス拡大により当たり前の日常ががらりと変わり、自分の今まで過ごしていた生活のすばらしさを改めて実感しています。連日コロナウイルスの拡大が広がっていき、テレビをつけても不安なニュースばかりで外にも出られず気が滅入ってしまいます。ですが、不要不急な外出は避け、家の中で普段できないようなことに挑戦してみたいかがでしょうか。筋トレや勉強、自分の趣味など時間があるからこそできることがたくさんあります。私的なことではありますが、最近マスクを自作しました。ミシンがなかったので仕方なく手縫いになり、一つ作るのに一日かかってしまいました。それから、自分の進路について調べなおし、新しい発見を得ることもできました。この長い休みの期間を無駄に過ごすのではなく、先を見据えて今のうちから行動していきましょう。

「また皆と一緒に」  
願いを込めて。  
早朝、グラウンド整備  
をする顧問



諸君は自分の魅力に気づき、自信を回復するに違いありません。財産は結果ではなく、その過程によって育つのだと知るからです。

皆さんは、毎朝のひとりランニング中に花を見つけてこんなことを思っているのでしょうか。「たんぽぽと小声で言ひてみて一人」(星野立子)。その時の君たちの涙が見えるようです。しかし、「万有引力とは ひき合う孤独の力である」(谷川俊太郎)。私たちは過去からの小さな選択を重ねてここに集った。今の孤独感は、次に出逢うために必要な感情なのではないか。出逢いによって、異なる一人ひとりが励まし合い、力になる。学校はそういう場でありたい。

「逢いたいと書けばしたたり落ちる青」(倉富洋子)。私はこの「青」に突き抜ける空の青を感じます。私たち教員は、生徒を目の前にすることで職業人たらしめていた。生徒に逢わなければ何者にもなれない。そんな想いで先生方も学級通信に「逢いたい」と綴っているのだと思います。何者かであるために誰かが必要であることを改めて感じています。

パンデミックが終われば、何もかも元通りというわけにはいかないでしょう。この危機を乗り切った後にあるべき世界をそれぞれが健全にイメージし、それを皆で創り上げるため、優しい気持ちで準備を始めてください。

皆さんの日々のダメージが少しでも小さくあるように、どうぞ心をいたわってください。まずは心と体が健康であること。そして早く逢えることを願ってやみません。



教室は生徒を待つように、「友だちのことを木(気)にかけよう！」のユッカも懇切で生徒の皆さんを気に掛けています。

三年生の皆さんは受験という大事な期間が迫っています。自分の得意不得意を見つけ、克服、対策を積み重ねていきましょう。二年生の皆さんは部活動の引継ぎや新入生の歓迎などより一層忙しくなってきます。休みが明けた時に備え、体を動かしておきましょう。

新入生の皆さん、はじめまして。本来ならもっと早く皆さんとお会いする予定でしたが、このような事態になり本当に残念です。新入生の皆さんと会えるのを楽しみにそれぞれの部活動が準備をしていました。一日でも早く皆さんの新しい高校生活が始まることを祈っています。

学校や病院など私たちのために働き、動いてくれ

る人がたくさんいます。その人たちのためにも、自分のためにも手洗いうがいは忘れずに早寝早起きの生活習慣を心掛け、免疫力を上げて自分自身の体を守っていきましょう。自分の体を守り備えることが、

周りの人への感染を防ぐことにつながります。月並みな言葉しか言うことができませんが、一日でも早くこの事態が収束し皆さんと笑顔で会えるのを楽しみにしております。

### **応援団長 島津和人さんから、 皆さんへの応援メッセージ**



仙台高校の皆さん、こんにちは。島津です。皆さんはこの約2ヶ月という長い休みの間、どのようなことを考え、どのように過ごしていたでしょうか。正直、休みに入った3月の頃はこんな大事になるとは思っていませんでした。しかし新型コロナウイルスの感染力は想像を遥かに超えるもので、ついに宮城県でも感染者が出てしまい、学校再開の目処が立たなくなりました。この辺りから友達に会いたい気持ちや今まで通り学校生活を送りたいという気持ちが湧いてきました。当たり前前の生活がどれだけありがたいことか、皆さんも感じたと思います。世の中には「自分は関係ない」などと訳の分からないことを言い、遊びに出かけている人もいて、このようなニュースを耳にする度に腹が立ちます。しかし我が仙台高校の生徒は「自主自立」の校訓のもと、人のため、社会のために今自分がすべき事を考えることができる人達だと思います。もし仮に周りで間違った行動をしている人がいたら、勇気を持って正してください。それが本当の友達だと思います。

さて、この原稿は800字程度で書いてくれと依頼

されているのでこのまま終わるわけにはいきません。そのためここからは余談と言いますか、私個人の思いをつづります。お許してください。

早いもので入学してから丸2年が経ちました。高校生活は時間が経過するのが早いと聞いていましたが、ここまで早いとは思いませんでした。その貴重な青春時代の一部を新型コロナウイルスに潰されかけていることに怒りと不安を覚えます。特に我々3年生にとっては色々なことの頭に「最後の」がつきます。この状況から100パーセント悔いが残らないようにするのは難しいかもしれません。ですが、できる範囲内で全力を尽くすことはできます。我々の学年は色々な方面でのパワーが有り余っていて、尚且つ個性的な人が多くて、本当に面白い学年だと思います。なので我々が中心でもっと活気溢れる学校にして、卒業まで突っ走りましょう。

そして1年生のみんな、入学おめでとう。上にも書いたとおり、高校生活は本当にあつという間に過ぎるから、一瞬一瞬を大切に、そして他愛もない日常を全力で楽しむこと！最後に私達の見えないところで先行きが分からない中でも様々な準備、対応にあたってくださった先生方、本当にありがとうございます。心から感謝致します。



### **父母教師会会長 鎌田美千子さまか らの応援メッセージ 仙台高校の皆さんへ**

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。1年生の皆さん、入学おめでとうございます。今年はいつもの年とは違いますが、桜は、いつものように美しく咲きました。どんな時でも、花は咲いてくれるのです。私たちも、いつもと違う状況に上手く合わせましょう。

皆さんの今の課題、ミッションは、「仙台高校の生徒として、一丸となり、一致団結して、この世界的な試練を乗り越える」ということです。今、皆さんは、学校に通えない状況ですが、こういうときでも、他者を思いやり、明るく前向きに有意義に過ごすこと。通学できるようになった時のために準備をすること。工夫して勉強し身体を鍛えること。そして、この歴史的な試練を、世界は、日本は、私たちは、どのように乗り越えていくのか。よく見て、自

分は何ができるのかをよく考え、今できることを精いっぱい頑張ることです。

仙台高校は、1940年に創立しました。この80年の間に、戦時中の戦禍を乗り越え、大震災などさまざまな事があっても、創立以来、先生方、保護者が皆で力を合わせ、常に生徒たちの未来のために教育を続けてきました。仙台高校の先生方は、皆さんのことを一生懸命に考え、支え、励まし、応援して下さる方ばかりです。保護者の私たちも、皆さんの力になりたいと思っています。先生方、保護者とともに、今、目の前にある試練に皆で気持ちを合わせ、立ち向かっていこうではありませんか。

皆さんは、私たち大人にとって宝です。何よりも、健康を保ってください。身体が元気であれば、いつでもやりたいことができます。疲れたら休み、今できる方法で身体を鍛え、体調をととのえてください。何とか、この時期を健やかに有意義に過ごしてほしいと心から願っています。皆さんが元気な姿を見せてくれることを楽しみにしています。頑張りましょう。

**普通棟まへの花壇～  
チューリップも咲きました。**



〒981-8502 仙台市青葉区国見6丁目52-1

Tel 022-271-4471 Fax 022-271-1136

URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>

担当:主幹教諭 板橋俊文 次号はどなたからのメッセージ

なのか、皆さんどうぞお楽しみに!